

上桂川対策特別委員会

日 時 平成 2 6 年 1 1 月 1 9 日 (水) 午前 1 0 時 ~
場 所 第 3 委員会室

1 開 議

2 案 件

所管事項調査活動のまとめ

(過去 4 年間の取組状況及び今後の方向性について)

3 その他

上桂川対策特別委員会

平成26年11月19日(水)

まちづくり推進部
桂川・道路整備課

■ 桂川改修に係る4年間の経過と現状

桂川治水対策の基本方針は、日吉ダムによる洪水調節とダム下流域の河道改修による疎通能力の拡大を図ることとしています。

このため、亀岡市域の桂川改修は、支川改修も含めて幾多の大水害から市民の生命と貴重な財産を守るための根幹となる防災・減災対策として喫緊の課題であり、今日まで行政・議会・市民団体（桂川改修促進期成同盟）が連携し、要望活動を進めてまいりました。

とりわけ、この4年間においては、①当面計画の完了に引き続きの暫定計画事業着手（平成22年度から高水敷掘削開始）②広大な河川敷空間の有効活用を目的とした「保津川かわまちづくり計画」の策定（平成23年度保津川かわまちづくり協議会設置）など大きな進展があったところです。

しかしながら、暫定計画ステップ2の段階より先に進めるには、嵐山地区から下流の国直轄区間の流下能力とのバランスを考慮することが前提となります。

平成25年9月に来襲した台風18号の記録的豪雨により、桂川下流域でも溢水による被害が生じましたが、同年11月に国土交通省から桂川の災害対策等緊急事業推進費が採択されたとの公表があり、淀川水系三川の中で最も治水安全度が低い桂川の改修促進が図られることになりました。

このことは、桂川上流域の治水安全度向上にもつながることとなり、今日までの地道な要望活動の成果です。今後とも、行政・議会・市民団体がなお一層連携しながら、国や京都府に対し強力な要望を継続していきます。

現在、京都府において「桂川上流域河川整備計画」の策定委員会が開催されており、本年度内のまとめに向けて検討が進められています。支川も含めた計画的な改修促進のためには、本計画の策定が重要であり、注視してまいります。

また、広大な河川敷空間の有効利用は、多くの市民のみなさまから注目され、早期整備が望まれています。亀岡市も亀岡駅北エリアを核とした「にぎわいとうるおいのゾーン」形成のため「保津川かわまちづくり」を推進していきます。

桂川改修に係る4年間の主な動きについて(平成22年度～平成26年度)

	河川改修事業(保津工区)	保津川かわまちづくり計画	亀岡市桂川改修促進期成同盟他の動き	市議会の動き	備考
H21年度以前	<ul style="list-style-type: none"> ・S57 桂川改修計画の公表 ・S62 桂川改修全体計画認可 ・H2 三段階事業実施計画策定 ・H9 工事着手 ・H15 緊急対策特定区間の指定 ・H21 当面計画整備の概成 	<ul style="list-style-type: none"> ・H21. 12「保津川かわまちづくり検討委員会」設立 			<ul style="list-style-type: none"> ・H21. 3 国土交通省近畿地方整備局「淀川水系河川整備計画」策定 ・H22. 3 京都府により「木津川・桂川・宇治川圏域河川整備計画検討委員会」設立
H22年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保津川遊船企業組合事務所及び乗船場移転完了 ・桂川本川と西川、年谷川の合流部工事着手 ・保津川遊船前護岸工事着手 ・桂川本川高水敷掘削工事着手(左岸) 	<ul style="list-style-type: none"> ・H23. 3 「保津川かわまちづくり計画」策定 ・保津橋下流左岸「花回廊」の一部完成 			
H23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・桂川本川と西川、年谷川の合流部工事完成 ・保津川遊船前護岸工事促進 ・桂川本川高水敷掘削工事促進(左岸完了) 	<ul style="list-style-type: none"> ・H23. 9 「保津川かわまちづくり推進協議会」設立 ・雑水川合流部桂川本川下流右岸「花回廊」の一部着手 ・年谷川左岸「野橋立」の完成(下流) 	<ul style="list-style-type: none"> ・亀岡市桂川改修促進期成同盟による要望活動(京都府、近畿地方整備局)及び視察研修(野洲川) ・桂川治水水利対策協議会(意見交換会、中央要望) 	<ul style="list-style-type: none"> ・H23. 5. 26上桂川対策特別委員会「平成23年度事業計画と今後の見通し・桂川本川視察」 	
H24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保津川遊船前護岸工事促進 ・桂川本川高水敷掘削工事促進(右岸) ・雑水川合流点工事完成 	<ul style="list-style-type: none"> ・年谷川右岸「野橋立」の完成 ・桂川左岸堤防の園路整備着手 ・桂川右岸水際再生工事の一部着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・亀岡市桂川改修促進期成同盟による要望活動(京都府、近畿地方整備局、中央) ・桂川治水水利対策協議会(意見交換会、中央要望) 	<ul style="list-style-type: none"> ・H24. 5. 24上桂川対策特別委員会「平成24年度事業計画と今後の見通し・桂川本川(護岸整備箇所、高水敷掘削箇所、掘削土処分先等)視察」 	<ul style="list-style-type: none"> ・H24. 7. 15「亀岡・京都豪雨」 ・H24. 7. 23 国土交通省近畿地方整備局により「桂川嵐山地区河川整備に関する検討委員会」設立
H25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保津川遊船前護岸工事促進 ・桂川本川高水敷掘削工事促進(右岸) 	<ul style="list-style-type: none"> ・桂川左岸堤防の園路整備完成 ・年谷川左岸「野橋立」の完成(上流) ・保津川遊船付近堤防「さくら広場」着手 ・桂川右岸堤防の「花回廊」整備着手 ・桂川右岸山本浜の護岸(根固)工事着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・亀岡市桂川改修促進期成同盟による要望活動(京都府、近畿地方整備局、中央)及び視察研修(日吉ダム) ・桂川治水水利対策協議会(意見交換会、中央要望) 	<ul style="list-style-type: none"> ・H25. 5. 9上桂川対策特別委員会「平成25年度事業計画と今後の見通し・桂川本川(左岸園路、さくら広場、野橋立)視察」 ・H25. 11. 19上桂川対策特別委員会「桂川本川及び支川(犬飼川、千々川、雑水川等)視察」 ・H25. 11. 25 亀岡市議会から京都府知事宛「一級河川桂川及び支川の治水対策早期実現を求める意見書」提出 ・H25. 11. 28 全員協議会日吉ダム視察(台風18号における治水調整機能等について) 	<ul style="list-style-type: none"> ・H25. 9. 15～16 「台風18号」 ・H25. 11. 29 災害対策等緊急推進費(約170億)の採択公表
H26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・保津川遊船前護岸工事概成 ・桂川本川高水敷掘削工事促進(右岸) ・桂川本川右岸高水敷護岸工事着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・保津川遊船付近堤防「さくら広場」完成 ・桂川右岸堤防の「花回廊」整備促進 ・桂川右岸山本浜の護岸(根固)工事促進 ・年谷川右岸園路整備着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・亀岡市桂川改修促進期成同盟による要望活動(京都府、近畿地方整備局、中央) ・桂川治水水利対策協議会(意見交換会、近畿地方整備局・中央要望) 	<ul style="list-style-type: none"> ・H26. 5. 28上桂川対策特別委員会「桂川下流域の河川整備計画(桂川緊急治水対策)について現地視察」 	

2.3 河川整備の現状と課題

桂川の治水対策の1つの柱である日吉ダムが平成10年に完成し、治水安全度は飛躍的に向上しており、日吉ダム完成後の最大洪水である平成16年の台風23号出水では亀岡で約1mの水位低減効果を発揮し、洪水被害の防止に大きく寄与している。治水対策のもう1つの柱である河道改修は、保津工区の昭和57年出水に対応する当面計画での整備が平成21年度に概成し、概ね1/10程度の治水安全度が確保された。このように治水安全度は着実に向上してきているものの、平成16年台風23号と同規模の出水では依然として浸水被害が発生することになる。

一方、河川改修に伴って広大な河川空間が新たに創出されており、河川空間を有効に活用することが望まれている。

また、国交省では今後の概ね30年間の具体的な河川整備の内容を定めた「淀川水系河川整備計画」を平成21年3月に策定された。今後は、この計画を踏まえ戦後最大規模の洪水を安全に流下させることを目指しつつ、水と緑の豊かな河川環境の保全・再生やまちづくりと連携した河川整備が期待されている。

○改修の経過

- ・S57 桂川改修計画の公表
- ・S62 桂川改修全体計画認可
- ・H2 三段階事業実施計画策定及び協議
- ・H9 工事着手
- ・H15 緊急対策特定区間の指定
- ・H21 当面計画整備の概成

2.4 これからの河川整備

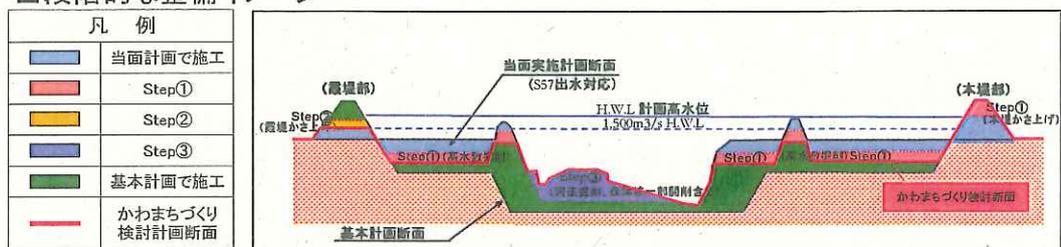
今後の桂川の河川整備にあたっては現状と課題を踏まえ、次を基本として推進することとされている。

- ① 当面計画に引き続き、上下流バランスを確保しつつ、治水安全度の着実な向上を図る。このため、国との協議調整を図りつつ「淀川水系河川整備計画」に基づき、戦後最大洪水を安全に流下させることを目指し、段階的かつ着実に整備を進める。

戦後最大洪水を安全に流下させるために、下流の整備状況を踏まえつつ次の3つのステップで整備を進める計画である。第1ステップとして高水敷の堀削と堤防のかさ上げを行う。続いて、下流の整備が進んだ段階で第2ステップとして霞堤のかさ上げを行う。この段階でH16年台風23号出水規模の洪水に対応することができる。さらに下流の整備状況を踏まえて河床堀削と一部区間の保津峡の開削を行う。これによって戦後最大洪水に対応することができる。

このうち「保津川かわまちづくり」は、第1ステップ（高水敷の切り下げと堤防のかさ上げ）として整備される河川の形状を対象とする。

■段階的な整備イメージ



- ② 保津工区において新たに創出される広大な河川空間の利活用や、アユモドキをはじめ多様な生物の生息環境の保全再生を推進するために、地元・市・府・関係団体及び有識者等が連携しつつ、保津川かわまちづくり計画を策定し、実施していく。
- ③ 河川整備を着実に進めるためには、下流直轄区間の整備促進が不可欠であり、京都府並びに上下流の関係市町が一体となって、桂川の治水対策のより一層の推進に取り組む。

桂川(保津工区)河川整備状況

H26. 6

